

広告

ユニークな教育システムで日本の大学を Innovate する!



国際教養大学の挑戦

公立大学法人 国際教養大学
理事長・学長

やま 徳 伸
(国際社会学者)

国際教養大学は、2004年4月にわが国最初の公立大学法人として開学しました。本学は、「外国語の卓越した運用能力と豊かな教養およびグローバルな知識を身につけた実践力のある人材を養成し、国際社会および地域社会に貢献する」を建学のミッションとしています。このため本学は、すべての授業の英語での実施、リベラルアーツ教育の重視、在学中の1年間の海外留学必修、新入生は留学生と共に全員1年間の寮生活など、これまでの日本の大学ではなし得なかった画期的な教育システムを導入して注目されています。

開学4年目を迎え、明年3月には初の卒業生を社会に送り出すこととなりますが、卒業予定者の就職・進学状況もきわめて好調です。2008年度には、グローバル・コミュニケーションの分野では初の専門職大学院を9月入学で開設することとなりました。

また、2008年度からは学部の入学定員も増員し150名になります。その学生募集に際しては、入学前のボランティア活動、フィールドワークなどを評価するギャップイヤー制度を取り入れた9月入学を導入します。これらを通じ、引き続きわが国高等教育界の改革をリードしていきます。

受験生の皆さん、ぜひ本学に挑戦してください。

学部教育の特色

グローバル化の時代に対応して、「真の国際人を養成する」という本学の理念に基づき、国際社会で通用する豊かな教養を英語で身につけた、国際的に活躍できる実践力のある人材を育成します。

【ギャップイヤー制度と9月入学の導入】

本学のギャップイヤー制度とは、3月選考、9月入学の選抜制度を新設して、9月入学までの間、海外ボランティアや海外研修など多様な体験活動を行い、この活動状況を評価して一定の単位を認める仕組みです。

このように、高校卒業から大学入学までの期間を活用することにより、社会的な見聞を広げたり、自己発見の機会を持つなど、単に大学の中だけでは得ることのできない貴重な体験を入学前にすることができます。

【授業はすべて英語】

授業はすべて英語で行いますが、「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学ぶ」を日常にしています。英語の講義を聴き、自分の考えを英語で述べ、英語で論文を書くなどの訓練をすることで、国際社会のどんな環境においても十分にコミュニケーションが可能という大きな財産を身につけることができます。

【全学生が世界の一流大学で1年間の留学】

異文化体験を通じた国際的な視野とセンスを身につけるため、全学生に提携大学への1年間の海外留学を義務づけています(提携大学は2007年12月現在で24カ国・地域、68大学)。1年間の留学を通して、30単位前後の科目履修・単位互換を目標としていますので、提携校で授業を十分理解できるだけの語学力(TOEFL:550(PBT)以上)を入学前に養います。

【国際色豊かなキャンパスと寮生活】

専任教員の半数以上が全世界から募集した外国人教員です。また、提携大学などからの多くの留学生に囲まれた異文化環境の中で、自然に国際感覚が身につきます。新入生は、1年間、寮で生活します。多くの留学生も寮で生活しますので、共同生活を通して、日本に居ながら異文化交流を体験できます。図書館は毎日24時間オープンしています。

入試情報

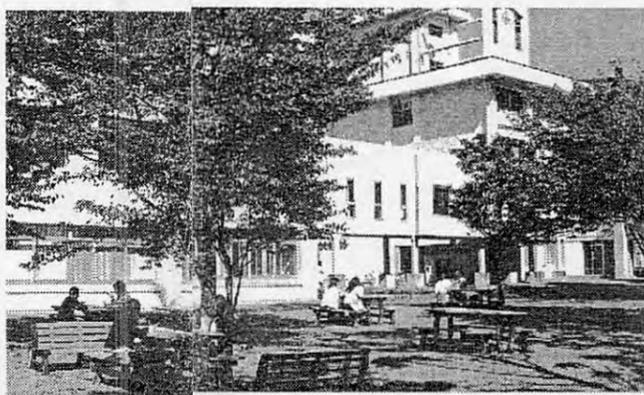
2008(平成20)年度一般選抜入学試験日程

選抜対象	試験科目	出願期間	試験日	合格発表
A日程 (定員40名)	センター試験(3教科) 個別学力試験(英語、国語)	平成20年1月15日(火)~ 平成20年1月25日(金)	平成20年 2月4日(月)	平成20年 2月12日(火)
B日程 (定員40名)	センター試験(5教科) 個別学力試験(英語、国語)	平成20年1月24日(木)~ 平成20年2月7日(木)	平成20年 2月19日(火)	平成20年 2月27日(水)
C日程 (定員15名)	センター試験(英語) 個別学力試験(英語小論文)	平成20年2月20日(水)~ 平成20年3月4日(火)	平成20年 3月16日(日)	平成20年 3月21日(金)
9月入学 【ギャップイヤー入り】 (定員10名)	センター試験(5教科) 面接(英語と日本語)	平成20年3月1日(土)~ 平成20年3月17日(月)	平成20年 3月24日(月)	平成20年 3月26日(水)

- 一般選抜試験(A、B、C日程)は、1次試験にセンター試験を課すとともに、2次試験を他の国公立大学とは異なる独自日程で行います。これにより、最大3回の受験機会と他の国公立大学との併願が可能となります。
- 詳細は募集要項等により必ず確認してください。

教職課程の設置(認定申請中)

2008年4月、国際教養学部で教職課程を設置します。本課程においては、高い英語力の上に、国際教養と留学等による経験とを兼ね備えた有能な教員の養成をめざしており、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得することが可能になります。



専門職大学院の設置(2008年9月開講)

2008年度に、専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科を開設します。全員9月入学で、3月に学部を卒業するなどして、入学までに一定の期間を有する入学予定者については、その期間に従事したフィールド・ワークやボランティア活動等、当該期間の活動報告を審査のうえ評価し、単位を付与するギャップイヤー制度を導入します。

入学者選抜については、英語で授業を行うため、TOEFLなどのスコアに基づいた高度の英語力を要請するとともに、一部の領域(発信力実践)では、実務経験を有する学生への昼間授業に加え、集中講義や遠隔授業の受講により、1年でも修了できるようにしています。



教育の特色

- 英語による高度な専門職教育
- 「理論と実践の架橋」を基軸とした教育の展開
- 社会人のリカレント教育

研究科の概要

●英語教育実践領域【学位:英語教育修士(専門職)】

「英語のできる日本人を育成する」ことのできる教師の養成およびそのリカレント教育を行うコースです。徹底して実用性を重視しており、抽象的な理論よりも授業での教授法や教材、評価等の技法に重点を置いています。修了後は、中学校・高等学校専修免許状(英語)【認定申請中】を取得することができます。

●日本語教育実践領域【学位:日本語教育修士(専門職)】

外国人を対象に英語等で日本語を教えることができ、かつ高度な専門知識を有した日本語教員の養成およびそのリカレント教育を行うコースです。英語教育実践領域と同様に、実用性の高い、現場で必要とされる科目を中心に構成されています。

●発信力実践領域【学位:発信力実践修士(専門職)】

国際報道、海外取材、海外メディアへの発信や海外諸機関との連携に強い国際的な人材の養成を行うコースです。政治・経済・文化に関する国際関係および各種メディアと国際社会との関係の理解のほか、海外取材・報道・通訳等に要する知識と技能、特に英語による発信力の習得を目指しています。修了後は、各種メディアでの活動のほか、国際機関や公的機関、企業等で海外広報担当として活躍することが期待されます。

入試情報とギャップイヤー制度

ギャップイヤー制度と9月入学をわが国で初めて導入しています。また、入学試験はグローバル・スタンダードに照らして、米国などでの大学院と同様に書類選考で行います。詳細はホームページをご覧ください。



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

- 国際教養学部 グローバル・ビジネス課程 / グローバル・スタディズ課程
- 専門職大学院 グローバル・コミュニケーション実践研究科

〒010-1211 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿袋193-2
TEL 018-886-5900(代) FAX018-886-5910 E-MAIL:info@aiu.ac.jp

www.aiu.ac.jp